

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第10号

第10週(3月3日～3月9日)

発行年月日:平成15年(2003年)3月17日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (10週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (10週)	全国 (10週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	1	1	98	6	693
	パラチフス	0	0	5	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	84	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	1	92	6	453
	エキノкокクス症	0	0	3	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	0	162	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	22	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	18	1	90
	後天性免疫不全症候群	1	3	149	6	888
	ツツガムシ病	1	1	22	0	329
	梅毒	0	1	87	4	561
レジオネラ症	0	0	32	1	166	

\* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	13.45	13.18	22.30	7.29	12.13	9.00	13.43	13.33	
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.22	0.14	0.17	0	0.20	0.50	0.25	0.50	
感染性胃腸炎	4.13	7.71	6.17	5.00	2.00	2.75	0	0	
水痘	1.97	2.29	1.50	1.50	2.60	1.75	3.00	0	
手足口病	0.13	0.14	0.33	0	0.20	0	0	0	
伝染性紅斑	0.13	0	0.17	0	0.20	0.25	0.25	0	
突発性発疹	0.44	0.57	0.67	0.75	0	0.25	0.25	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.31	0.14	1.17	0	0	0.50	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	1.00	1.00	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 5 10 15  
定点当たり患者数

### 3)今週のトピックス

#### 水痘の定点当たり患者数は増加傾向 海外の感染症情報

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、水痘、突発性発疹、マイコプラズマ肺炎等の定点当たり患者数が増加しています。また、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

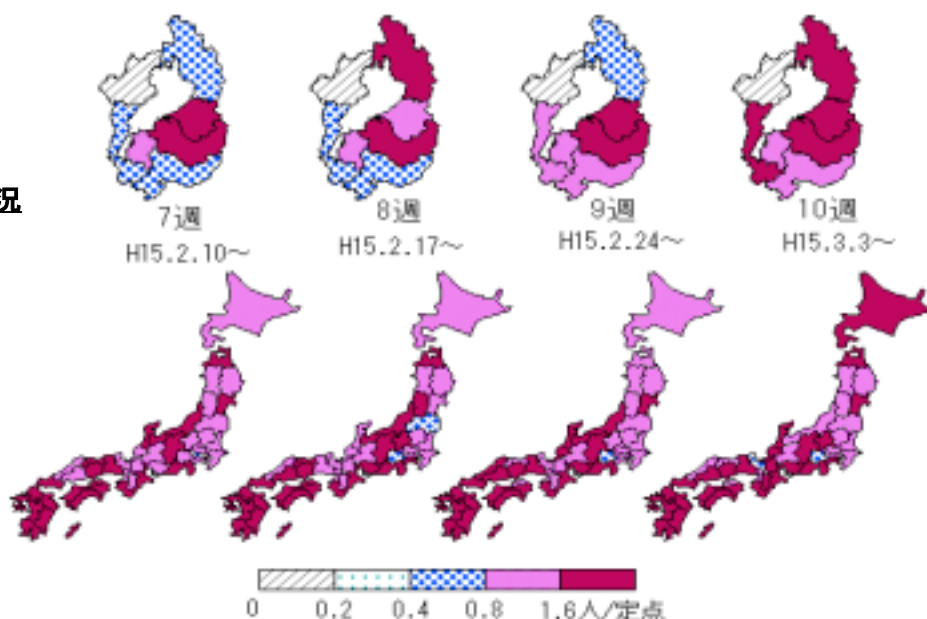
**インフルエンザ**については、定点当たり患者数が13.45となり減少傾向を示していますが、草津保健所管内の定点当たり患者数は22.30で引き続き多い状態となっています。

インフルエンザの全国の発生状況(第9週)は、大部分の都道府県で減少していますが、秋田県、山形県および岩手県では多い状態が続いています。また、徳島県、大分県および佐賀県における定点当たり患者数は前週(第8週)より3.5以上の増加を示しています(iDWR2003年第5巻第9号より)。

**感染性胃腸炎**については、先週より減少していますが、大津、草津および水口保健所管内の定点当たり患者数が多くなっているため、今後の発生状況に注意が必要です。

**水痘**については、増加傾向となっていますので今後の動向に注意が必要です。水痘の地域別・週別発生状況は下記のグラフのとおりです。

水痘の地域別・週別発生状況  
(平成15年第7～10週)



#### 海外の感染症情報(iDWR第5巻第9号 海外感染症情報より抜粋)

##### ●コンゴ共和国でのエボラ出血熱流行

WHO/CSR 2003年3月7日

2003年3月7日現在、Cuvette Ouest地域のMbomo地域とKelle地域でエボラ出血熱により、累計で89名の死亡者を含む5名の確定患者と、105名の疑い患者が報告された。

保健省、WHOおよび国際チームはエボラ治療のための医療従事者の訓練を継続し、接触者追跡調査を行い、医療器具を供給している。

##### ●ブルキナファソでの髄膜炎菌性疾患流行

WHO/CSR 2003年3月7日

3月6日現在ブルキナファソ保健省は、2003年1月以来、累計で死亡者542名を含む3,691名の患者を報告した。ブルキナファソの53地域中、Batie, Bogande, Manga, Po, Zabreの5地域で流行閾値に達し、Boulssa, Bousse, Dande, Leo, Nanoro, Sapone, Secteur 30 de Ouagadougou, Zorghoの8地域が警戒レベルにある。

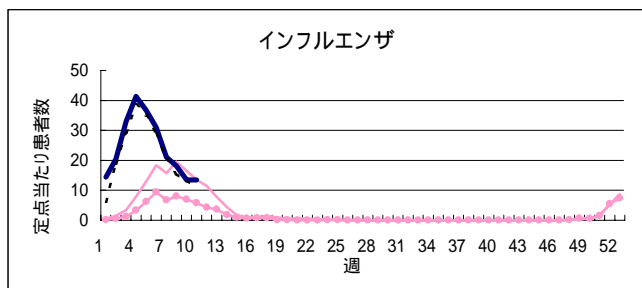
##### ●オーストラリア・ケアンズでのデング熱

Eurosurveillance weekly 2003年3月6日

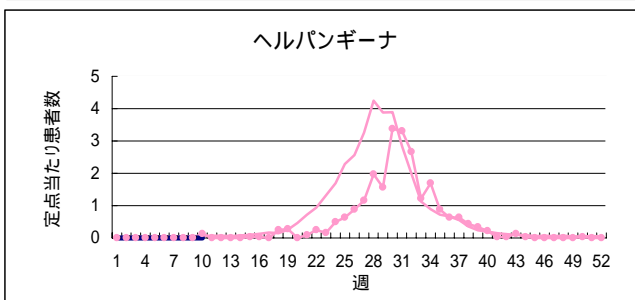
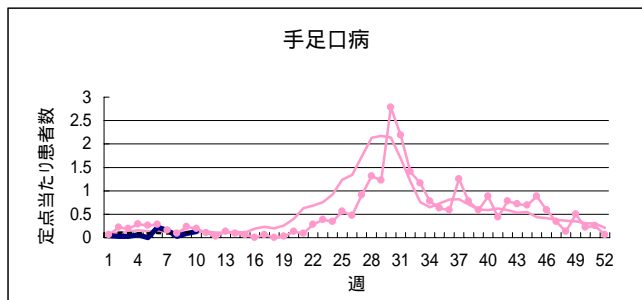
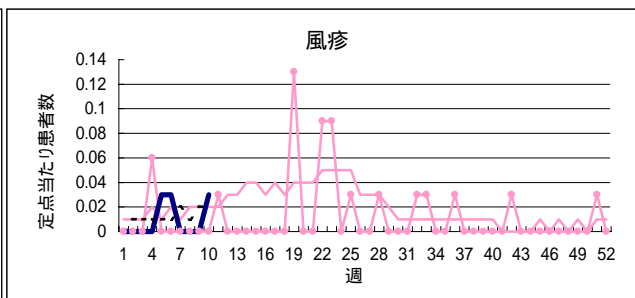
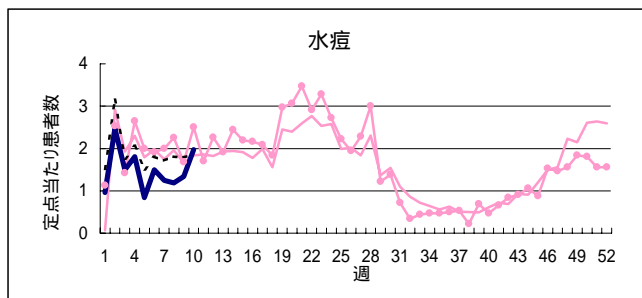
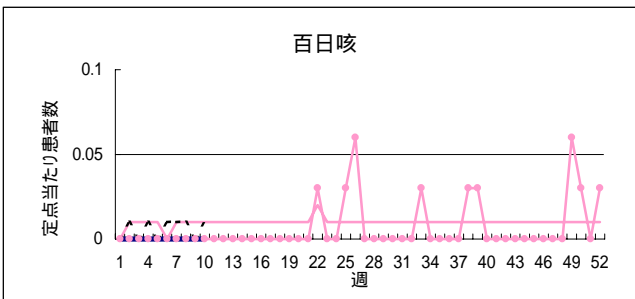
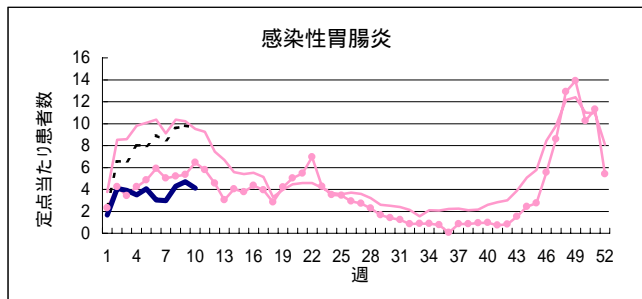
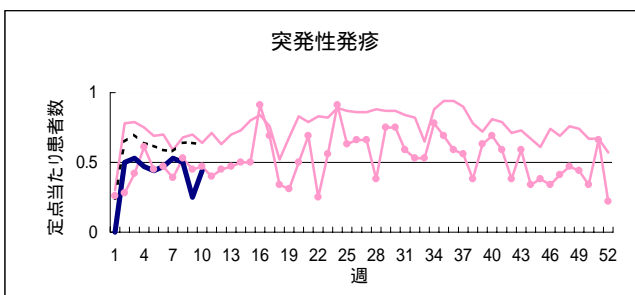
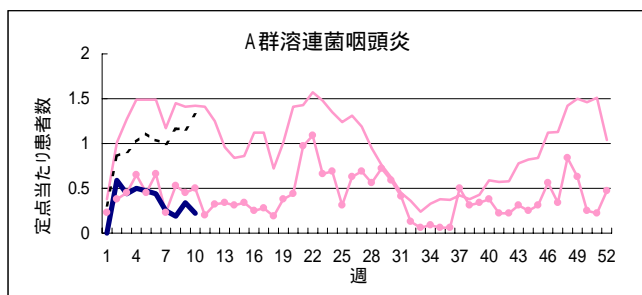
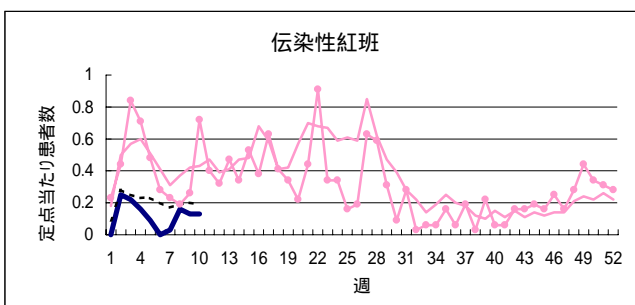
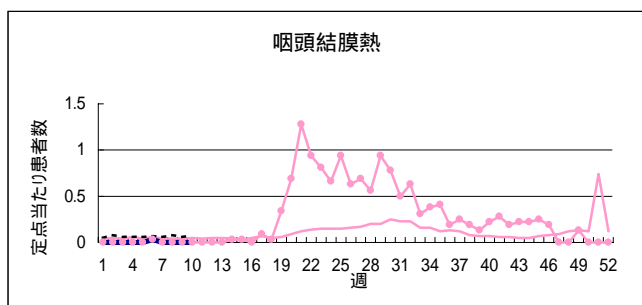
英国ロンドン公衆衛生検査サービス感染症サーベイランスセンターJoanne Lawrence医師の報告。オーストラリアのケアンズで、この地域で感染したと思われるデング熱患者が3名確定診断された。1名でデングウイルス血清型2型が確認されている(Queensland州保健省熱帯公衆衛生学部門科学技官Brian Montgomeryからの私信、2003年3月5日)。

\* 関連の情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第10週)



H14 〔 滋賀 ●——●  
 全国 ————  
 H15 〔 滋賀 ————  
 全国 .....



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週~第10週)

H14 〔 滋賀 ●●●●● 全国 ———— 〕  
H15 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕

